

## PG-EPOC に対応した卒後臨床研修評価システムと研修医評価票

### 臨床研修医の評価方法に関する変遷

新医師臨床研修制度の開始に当たり、厚労省令 158 号 17 条により、研修医の評価が求められるようになりました。当館では臨床研修医の評価システムとして、当初は EPOC (Evaluation system of Postgraduate Clinical Training : オンライン研修評価システム)の採用を検討しましたが、入力作業が煩雑であり、各診療科での評価の内容とは合致しない点も少なくありませんでした。このため、EPOC の評価項目を参考にしつつ、当館で独自に準備した研修医評価票 (紙面ベース；別添)を用いて、評価を行うこととなった経緯があります。

具体的には、臨床研修医が自己の研修評価項目を記入 → 指導医に渡し → 指導医が各研修医への項目別評価を行ってコメントを記載し → 総合教育研修センターのプログラム責任者へ送る、の手順で評価するシステムとしました (例外；循環器内科・麻酔科・精神科・地域医療に関しては、独自の評価項目～評価票で評価)。

ただし、九州大学病院は研修医評価システムとして minimum-EPOC を採用していたため、九州大学とのたすきがけ臨床研修医は、好生館の評価票に加えて、minimum-EPOC への入力が必要でした (各指導医も minimum-EPOC を利用したオンラインでの研修医評価が必須となります)。

なお、この評価票は、臨床研修管理委員会の指示により総合教育研修センターで保存しているため、申請すれば、常時、閲覧可能です (取り扱いには十分留意してください) (非常に厳しい評価の場合には閲覧を制限することもあり得ます)。

さらに、新医師臨床研修制度は、5 年ごとに見直されています。今後は、第三者機関 (JCEP) による臨床研修病院の評価が義務付けられる可能性が高いと思われます。好生館でも令和 2 年度に JCEP の訪問審査を受け、適切な臨床研修病院として認定されました。

JCEP の受審に備え、好生館では平成 27 年度から、臨床研修の到達レベルを評価する JAMEP (日本医療教育プログラム推進機構)の CBT である「基本的臨床能力評価試験」を導入しました。また、平成 28 年度後半からは、いわゆる研修医の 360 度評価の一環として、コメディカル部門に評価をしてもらっています。

平成 29 年度からはコメディカル部門の代表として、看護部と病棟専任薬剤部によりローテーションした病棟単位で、臨床研修医の評価を開始し、令和 5 年度からは検査部技師長にも評価をしてもらっています。

新しい研修医評価システムである **PG-EPOC (EPOC2)** とそれに準拠した評価票

臨床研修医の評価については、2020 年度から評価方式が一新されました。

2020 年 6 月以降は、「PG-EPOC (EPOC2)」というシステムに全面的に移行しています。

上記の PG-EPOC システムはインターネットを使用するため、スマートフォンやタブレット上で研修医評価票への入力はもちろん、様々な症例・検査手技・治療行為などの登録や臨床研修の進捗状況の確認などが可能になっています。

なお、好生館としては、より具体的で研修の現状を反映した研修医評価が必要であると考え、上記の PG-EPOC に加え、従来の研修医評価票（病院独自の評価票；紙面ベース）も併用することにしました（再掲）。

共通の PG-EPOC 用研修医評価票（5 枚）も含め研修医評価票をコピーして渡しますので、各診療科での研修終了後早期に（原則として 1 週間以内）、従来の研修医評価票（自己評価を項目別にチェックし、自由意見を記載）に加え、PG-EPOC 用研修医評価票（氏名、回った診療科、研修期間などを手書きで記入）も、医局 2 の「専用回収ボックス」へ提出してください。

研修医評価票の回収は、総合教育研修センターが担当します。当センターでは各人の研修医評価票の提出状況（提出の有無、提出日、記載事項の漏れチェックなど）をファイル管理するとともに、研修医評価票を各診療部長へ届けます。各診療部長や指導医（医長クラス）は評価票に到達度や研修態度などを手入力し、当センターへ返却します。その後、返却された評価結果をもとに総合教育研修センターは各項目を PG-EPOC システムに「代行入力」します。

このような紙面運用により手書き入力された研修医評価票は、各臨床研修医ごとに専用の冊子として収納され、最低 10 年間、当センターで保管します。

## 研修医評価票 I、II、III (令和 年度 臨床研修医用)

研修した診療科名： \_\_\_\_\_ 研修医氏名： \_\_\_\_\_  
 研修期間： ( 令和 年 ) 月 日 ~ 月 日

- 研修した診療科名、研修医氏名、研修した期間を記入してください。
- PG-EPOCに対応した研修医評価票I～III（5枚）および各診療科の研修目標の評価票（従来版：A4裏表1～2枚）の自己評価欄にチェックを入れてください（評価票IIIは該当項目のみチェック）。コメント欄もできるだけ記入しましょう。原則として研修終了後1週間以内に医局2の「専用回収ボックス」に入れてください。評価票の回収等は総合教育研修センターでします。
- 各診療部長／指導医の先生は、**研修医評価票I及びII**に関しては全項目にできるだけチェックをお願いします（どうしても評価不能の場合は「観察機会なし」をチェック）。病院棟2階の総合教育研修センターのレター・ボックスに入れてください。
- 評価票は、**総合教育研修センターが回収→各診療部長へ評価依頼→各部長から総合教育研修センター・・・**の流れとなります。
- **研修医評価票III**に関しては、通常の診療科はC-2（緊急性の高い急患を経験した時はC-3もチェック）、**総合内科・消化器外科／肝胆脾外科・小児科はC-1とC-2**（C-1は一般外来研修）、**救急科はC-2とC-3**の評価をお願いします。C-2に関しては入退院、転院等で関わることできたらチェックをお願いします。**C-4の評価は不要**です（**地域医療研修時に評価**）。
- 到達目標に（^）がついているものは、厚生労働省の定めたもの以外に、総合教育研修センターで追加した項目です。
- 記入方法がわからない場合は、総合教育研修センター（甘利・藤田）までご連絡ください。

## PG-EPOC 対応 研修医評価票 I

### 研修医評価票 I A. 医師としての「基本的価値観（プロフェッショナリズム）」に関する評価

**A-1. 社会的使命と公衆衛生への寄与**  
 ・社会的使命を自覚し、説明責任を果たしつつ、限りある資源や社会の変遷に配慮した公正な医療の提供及び公衆衛生の向上に努める。

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

**A-2. 利他的な態度**  
 ・患者の苦痛や不安の軽減と福利の向上を最優先し、患者の価値観や自己決定権を尊重する。  
 ・自分の仕事以外も進んで行う姿勢がある\*

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

**A-3. 人間性の尊重**  
 ・患者や家族の多様な価値観、感情、知識に配慮し、尊敬の念と思いやりの心を持って接する。

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

**A-4. 自らを高める姿勢**  
 自らの言動及び医療の内容を省察し、常に資質・能力の向上に努める。

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

以上の項目（医師としての基本的価値観・プロフェッショナリズム）に関して、研修の評価に影響を及ぼすような事実（トラブルになったケースとか、非常に良かったことなど）があれば、記述してください。

コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）

## PG-EPOC 対応 研修医評価票 II

### 研修医評価票 II-1

### B. 医師としての「資質・能力」に関する評価

<b>B-1. 医学・医療における倫理性：</b> 診療、研究、教育に関する倫理的な問題を認識し、適切に行動する。								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・人間の尊厳を守り、生命の不可侵性を尊重する。</li> <li>・患者のプライバシーに配慮し、守秘義務を果たす。</li> <li>・倫理的ジレンマを認識し相互尊重に基づき対応する。利益相反を認識し管理方針に準拠して対応する。</li> <li>・診療、研究、教育の透明性を確保し、不正行為の防止に努める。</li> </ul>								
	レベル1 学生レベル		レベル2 1と3の間		レベル3 研修終了レベル		レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし
自己	<input type="checkbox"/>							
指導	<input type="checkbox"/>							
臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。								
コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）								

<b>B-2. 医学知識と問題対応能力：</b> 最新の医学及び医療に関する知識を獲得し、自らが直面する診療上の問題について、科学的根拠に経験を加味して解決を図る。								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・頻度の高い症候について、適切な臨床推論のプロセスを経て、鑑別診断と初期対応を行う。</li> <li>・患者情報を収集し、最新の医学的知見に基づいて、患者の意向や生活の質に配慮した臨床判断を行う。</li> <li>・保健・医療・福祉の各側面に配慮した診療計画を立案し、実行する。</li> </ul>								
	レベル1 学生レベル		レベル2 1と3の間		レベル3 研修終了レベル		レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし
自己	<input type="checkbox"/>							
指導	<input type="checkbox"/>							
臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。								
コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）								

<b>B-3. 診療技能と患者ケア：</b> 臨床技能を磨き、患者の苦痛や不安、考え・意向に配慮した診療を行う。								
<ul style="list-style-type: none"> <li>・患者の健康状態に関する情報を、心理・社会的側面を含めて、効果的かつ安全に収集する。</li> <li>・患者の状態に合わせた、最適な治療を安全に実施する。</li> <li>・診療内容とその根拠に関する医療記録や文書を、適切かつ遅滞なく作成する。</li> <li>・指示を出す際には、病室に必ず出向き、診察してから指示を出している*</li> <li>・指示をわかりやすく記載している*</li> </ul>								
	レベル1 学生レベル		レベル2 1と3の間		レベル3 研修終了レベル		レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし
自己	<input type="checkbox"/>							
指導	<input type="checkbox"/>							
臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。								
コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）								

## 研修医評価表 II-2

## B. 医師としての「資質・能力」に関する評価

B-4. コミュニケーション能力：							
患者の心理・社会的背景を踏まえて、患者や家族と良好な関係性を築く。							
<ul style="list-style-type: none"> <li>適切な言葉遣い、礼儀正しい態度、身だしなみで患者や家族に接する。</li> <li>患者や家族にとって必要な情報を整理し、分かりやすい言葉で説明して、患者の主体的な意思決定を支援する。</li> <li>患者や家族のニーズを身体・心理・社会的側面から把握する。</li> <li>患者や家族の不安に耳を傾けている*</li> </ul>							
レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル		レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし		
自己	<input type="checkbox"/>						
指導	<input type="checkbox"/>						
臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。							
コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）							

B-5. チーム医療の実践：							
医療従事者をはじめ、患者や家族に関わる全ての人の役割を理解し、連携を図る。							
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療を提供する組織やチームの目的、チームの各構成員の役割を理解する。</li> <li>チームの各構成員と情報を共有し、連携を図る。</li> <li>職員への自己紹介・挨拶・適切な言葉遣いができる*</li> <li>病棟のルールや約束の時刻が守られている*</li> <li>看護師と患者情報を共有し話し合いができる*</li> </ul>							
レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル		レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし		
自己	<input type="checkbox"/>						
指導	<input type="checkbox"/>						
臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。							
コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）							

B-6. 医療の質と安全の管理：							
患者にとって良質かつ安全な医療を提供し、医療従事者の安全性にも配慮する。							
<ul style="list-style-type: none"> <li>医療の質と患者安全の重要性を理解し、それらの評価・改善に努める。</li> <li>日常業務の一環として、報告・連絡・相談を実践する。</li> <li>医療事故等の予防と事後の対応を行う。</li> <li>診察や処置を行うときに患者を確認している*</li> <li>医療従事者の健康管理（予防接種や針刺し事故への対応を含む。）を理解し、自らの健康管理に努める。</li> </ul>							
レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル		レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし		
自己	<input type="checkbox"/>						
指導	<input type="checkbox"/>						
臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。							
コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）							

## 研修医評価票 II-3

## B. 医師としての「資質・能力」に関する評価

**B-7. 社会における医療の実践：**  
医療の持つ社会的側面の重要性を踏まえ、各種医療制度・システムを理解し、地域社会と国際社会に貢献する。

- ・保健医療に関する法規・制度の目的と仕組みを理解する。
- ・医療費の患者負担に配慮しつつ、健康保険、公費負担医療を適切に活用する。
- ・地域の健康問題やニーズを把握し、必要な対策を提案する。
- ・予防医療・保健・健康増進に努める。
- ・地域包括ケアシステムを理解し、その推進に貢献する。
- ・災害や感染症パンデミックなどの非日常的な医療需要に備える。

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。

コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）

**B-8. 科学的探究：**  
医学及び医療における科学的アプローチを理解し、学術活動を通じて、医学及び医療の発展に寄与する。

- ・医療上の疑問点を研究課題に変換する。
- ・科学的研究方法を理解し、活用する。
- ・臨床研究や治験の意義を理解し、協力する。

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。

コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）

**B-9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢：**  
医療の質の向上のために省察し、他の医師・医療者と共に研鑽しながら、後進の育成にも携わり、生涯にわたって自律的に学び続ける。

- ・急速に変化・発展する医学知識・技術の吸収に努める。
- ・同僚、後輩、医師以外の医療職と互いに教え、学びあう。
- ・国内外の政策や医学及び医療の最新動向（薬剤耐性菌やゲノム医療等を含む。）を把握する。

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年以上の レベル	観察 機会 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。

コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）

## PG-EPOC 対応 研修医評価票 III

### 研修医評価票 III

### C. 医師としての「基本的診療業務」に関する評価

**C-1. 一般外来診療（総合内科・消化器外科・小児科・地域医療研修時に記載）：**  
頻度の高い症候・病態について、適切な臨床推論プロセスを経て診断・治療を行い、主な慢性疾患については継続診療ができる。

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年目以上の レベル	觀察 検査 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。

コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）

**C-2. 病棟診療：**  
急性期の患者を含む入院患者について、入院診療計画を作成し、患者の一般的・全身的な診療とケアを行い、地域連携に配慮した退院調整ができる。

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年目以上の レベル	觀察 検査 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。

コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）

**C-3. 初期救急対応：**  
緊急性の高い病態を有する患者の状態や緊急度を速やかに把握・診断し、必要時には応急処置や院内外の専門部門と連携ができる。

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年目以上の レベル	觀察 検査 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。

コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）

**C-4. 地域医療（地域医療研修時にチェックしてください）：**  
地域医療の特性及び地域包括ケアの概念と枠組みを理解し、医療（特に在宅医療）・訪問看護・介護・保健・福祉に関わる種々の施設や組織と連携できる。

	レベル1 学生レベル	レベル2 1と3の間	レベル3 研修終了レベル	レベル4 3年目以上の レベル	觀察 検査 なし
自己	<input type="checkbox"/>				
指導	<input type="checkbox"/>				

臨床研修医は、2年目終了までに「レベル3」に達する必要があります。

コメント（印象に残るエピソードがあれば記載してください。レベル1とした場合は、必ず理由をお書きください）

## PG-EPOC 対応「一般外来研修」実施記録票

### 一般外来研修の実施記録票（好生館版 2024）

病院施設番号：030714

臨床研修病院の名称：佐賀県医療センター好生館

研修先No.	研修先病院名	診療科名	指導医名	総計
1				日
2				
3				
4				

&lt;記載例&gt;

実施日No.	2024年 4月 8日	2024年 4月 15日	2024年 4月 21日	2024年 7月 1日	2024年 7月 15日	2024年 9月 2日	2024年 9月 3日	2024年 9月 5日	小計
1日or半日	0.5日	0.5日	1日	1日	1日	1日	1日	1日	7.0日
研修先No.	1	1	1	2	2	3	3	3	

実施日No.	1	2	3	4	5	6	7	8	小計
年 月 日									日
1日or半日									
研修先No.									

実施日No.	9	10	11	12	13	14	15	16	小計
年 月 日									日
1日or半日									
研修先No.									

実施日No.	17	18	19	20	21	22	23	24	小計
年 月 日									日
1日or半日									
研修先No.									

実施日No.	25	26	27	28	29	30	31	32	小計
年 月 日									日
1日or半日									
研修先No.									

実施日No.	33	34	35	36	37	38	39	40	小計
年 月 日									日
1日or半日									
研修先No.									

研修医氏名：

1 指導医氏名： \_\_\_\_\_ (印)

2 指導医氏名： \_\_\_\_\_ (印)

3 指導医氏名： \_\_\_\_\_ (印)

4 指導医氏名： \_\_\_\_\_ (印)

## コメディカルスタッフの研修医評価票

### (病棟看護師／病棟薬剤師／検査技師)

2024 年度 臨床研修医 評価票 < 看護部・薬剤部・検査部 > 佐賀県医療センター 好生館

<研修医>氏名： \_\_\_\_\_ 研修期間： \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日 ～ \_\_\_\_\_ 年 \_\_\_\_\_ 月 \_\_\_\_\_ 日

<評価項目> 評価できない項目は空欄で結構です。

**1) 服装・身だしなみなど** (5段階評価です。該当する評価レベルに○をつけて下さい)

5 (非常に良い)	4 (良い)	3 (普通)	2 (やや不良)	1 (不良)

**2) 挨拶・報告・連絡・相談など** (5段階評価です。該当する評価レベルに○をつけて下さい)

5 (非常に良い)	4 (良い)	3 (普通)	2 (やや不良)	1 (不良)

**3) 時間やルールの遵守など** (5段階評価です。該当する評価レベルに○をつけて下さい)

5 (非常に良い)	4 (良い)	3 (普通)	2 (やや不良)	1 (不良)

**4) 協調性・節度・優しさ・思いやりなど** (5段階評価です。該当する評価レベルに○をつけて下さい)

5 (非常に良い)	4 (良い)	3 (普通)	2 (やや不良)	1 (不良)

**5) 患者への対応・他職員への対応など** (5段階評価です。該当する評価レベルに○をつけて下さい)

5 (非常に良い)	4 (良い)	3 (普通)	2 (やや不良)	1 (不良)

**6) 学習意欲・責任感・向上心など** (5段階評価です。該当する評価レベルに○をつけて下さい)

5 (非常に良い)	4 (良い)	3 (普通)	2 (やや不良)	1 (不良)

**7) 事務処理・記録・カルテ記載など** (5段階評価です。該当する評価レベルに○をつけて下さい)

5 (非常に良い)	4 (良い)	3 (普通)	2 (やや不良)	1 (不良)

V. 評価される各部門の責任者の方へ： その他、研修医に関して気付かれた点を、自由意見として、ご記入下さい。

評価者 \_\_\_\_\_ (病棟・部・科・センター) \_\_\_\_\_

→ 記入後は、病院棟 2 階総務課前 総合教育研修センターのレターボックスへ投函してください。

## 臨床研修医による上級医または指導医評価票

臨床研修医名					
研修分野・診療科					
上級医名または指導医名					
評価項目	評価				
	5 良い	4	3 普通	2	1 良くない
1. 知識に関する指導内容	5	4	3	2	1
2. 知識に関する指導方法	5	4	3	2	1
3. 技術に関する指導内容	5	4	3	2	1
4. 技術に関する指導方法	5	4	3	2	1
5. 態度に関する指導	5	4	3 b*・4	2	1
6. 研修医の状況への配慮	5	4	3	2	1
7. 研修医の意見・考え方に対する姿勢	5	4	3	2	1
その他、自由コメント					

コンストラクティブ・フィードバックをお願いします。  
記入後、医局2の評価票回収BOXへ提出してください。

## 臨床研修の目標の達成度判定票

(研修プログラム責任者からみた各研修医の目標達成度判定票)

### 臨床研修の目標の達成度判定票

研修医氏名： \_\_\_\_\_

A. 医師としての基本的価値観（プロフェッショナリズム）		
到達目標	達成状況： 既達/未達	備考
1. 社会的使命と公衆衛生の寄与	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 利他的な態度	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3. 人間性の尊重	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4. 自らを高める姿勢	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
B. 資質・能力		
到達目標	達成状況： 既達/未達	備考
1. 医学・医療における倫理性	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 医学知識と問題対応能力	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3. 診療技能と患者ケア	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4. コミュニケーション能力	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
5. チーム医療の実践	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
6. 医療の質と安全の管理	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
7. 社会における医療の実践	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
8. 科学的探究	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
9. 生涯にわたって共に学ぶ姿勢	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
C. 基本的診療業務		
到達目標	達成状況： 既達/未達	備考
1. 一般外来診療（ER時間外診療含む）	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
2. 病棟診療	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
3. 初期救急対応（ER時間外診療含む）	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
4. 地域医療	<input type="checkbox"/> 既 <input type="checkbox"/> 未	
<b>臨床研修の目標の達成状況（総合判定）</b>		<input type="checkbox"/> 既達 <input type="checkbox"/> 未達
(2年間の臨床研修姿勢に対するコメント、臨床研修の目標達成に必要な条件等)		

年 月 日

佐賀県医療センター好生館 臨床研修プログラム

プログラム責任者 \_\_\_\_\_